

グループホームくすのき(2階)				
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況
I. 理念に基づく運営				
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念を職員の目に見える所に掲示し、各利用者様に合った関わりや支援ができるように職員間で共有しております。職員研修では具体的な関わり方やご利用者様お一人お一人を良く知り、寄り添い、グループホームの理念に基づいたケアを日々心掛けております。</p>	<p>「互いに助け合い支え合う心を持ち、笑顔あふれる時間を大切にします」「個人を尊重し、その人の立場に立った誠実な対応、歓びと生きがいの環境づくりを目指していきます」「地域との連携、ご家族との交流を図り、地域の一員としての信頼関係を築いていきます」というグループホームの理念に基づいたケアを、日々心掛けています。</p>
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>新型コロナウイルスが5類へ移行し、少しずつ外出の機会を増やしています。地域のイベントにも11月から参加させて頂いており、地域でのつながりが途切れない様交流を積極的に設けています。</p>	<p>コロナ禍で中止になっていたイベントが徐々に再開し、利用者が地域との繋がりを持てる環境を積極的に支援している。</p> <p>施設の様子は、運営推進会議や老人会などで回覧し、地域に開かれた事業所になるよう、日頃から地域とのつながりを大切にしている。</p>
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議においてご利用者様の生活状況を報告し、認知症のご利用者様の現状等に理解頂けるよう努めています。</p>	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に一度、地域包括支援センターの職員・民生委員・自治会長・ご利用者様・ご家族様等に参加して頂いています。施設で行われた行事や入居状況等を地域の方や、関係機関に発表できる場となっており、様々な話し合いやアドバイスを頂いています。</p>	<p>運営推進会議には包括職員や老人会会長、民生委員、利用者家族も参加しており、写真を共有して具体的にホームの状況を把握いただいて意見をもらっている。</p> <p>さらに、他のグループホームとも電話で意見交換を行っている。議事録も適切に整備され、職員間で共有されている。</p>
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターの職員に必ず運営会議に出席頂き、意見・情報を貰う等良好な関係を築いています。市の保護課のケースワーカーには担当の利用者について様子を伝えたり、必要な手続き等連絡・相談を行っています。</p>	<p>運営推進会議を通じて、地域包括の職員とは日頃からよい関係を築いている。</p> <p>生活保護受給者への対応も柔軟に行っているため、福祉事務所との協力関係も整っている。</p>
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の弊害や悪影響について職員全員が理解するために定期的に勉強会を開催し職員全員で理解を深めております。ご利用者様お一人お一人の身体状況に合わせて、どんな危険が起きるかを念頭に置き、お一人お一人が自由に過ごせるよう見守りや介助を行い、拘束することなく過ごして頂いています。</p>	<p>研修を積極的に実施し、権利擁護への学びを深め、身体拘束ゼロを保っている。</p> <p>身体拘束委員会も適切に実施され、議事録も整えられている。運営推進会議の際、包括職員等から助言をもらい、新たな気付きを得ている。</p>
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についてもホーム内で研修を開き職員一人ひとりがお互いに気付け見逃す事のないよう防止に努めています。</p>	/

グループホームくすのき(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度を利用されているご利用者様はいらっしゃいませんが、今後新たに利用が必要になってくる方に対して対応できるように職員会議での年間計画に位置づけ、身につける機会を作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約・退居解約時には十分な説明を行い、不安のないように努めています。また改訂時には家族に連絡し、理解・納得が得られるように説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には積極的に職員から話しかける等、意見が言いやすい環境づくりに努めており、普段の利用者様の言葉や思いをガラス越しでの面会時や電話での近況報告の際にご家族へ伝えております。また、家族様からも意見や要望を伺い、運営に反映できるよう努めています。	コロナ禍でも限定的ではあるが、面会を許可している。家族と話をする機会を積極的に設け、要望や意見を積極的に取り入れてケアに反映させるよう心掛けている。アンケート結果も高評価であった。	LINEなどのSNSを活用して、利用者家族との情報の共有を行っていくことも、時代の流れとして今後検討されてはどうか。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	随時ミーティングや個別聞き取りの機会を設け、職員の意見が反映できるように努めています。	ミーティングや日々の業務の中で、お互いに意見が言い合える関係が構築されている。業務の効率化を図りつつサービスが低下しないようお互いが確認し、意見を出し合っている。	年に1度でも、職員との個別面談を実施してみてはどうか。改まる機会を持つことで、普段とは異なった意見や相談が得られることもあると思われる。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員の良いところを見つけ、与えられた役割や日々の自分の行動に責任が持てるように促し、働き甲斐のある職場になるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人事業所内研修を行い一人ひとりの、力量を把握し、良いところを伸ばせるよう指導し、意欲的に働けるよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者との連絡会は引き続き中止となっていますが、電話等で情報交換を行い、サービスの質の向上に努めています。		

グループホームくすのき(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居宅介護支援事業所や病院からも情報を得て、事前に見学・面談で生活状況を把握し利用者様やご家族様の要望や不安を理解しようと努めております。今まで生活していた環境が変わり不安になられた際は特に寄り添い、少しでも安心して過ごしていただけるようご家族様とも連携を取れるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人及び家族様から今後への思い、要望などを聞き、家族様ともに安心して頂けるように努めています。また面会時にはご本人の様子を伝え、面会中止期間においては電話で状況を報告し家族様との信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人及び家族様からの会話やご本人の身体状況からニーズを導き出し、サービスを見極め必要とされるサービスを提供できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その人に合った環境の下、役割活動を通し生活を共にし職員と利用者様が共に支え合えるような関係作りに努めています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ガラス越しで面会して頂き、本人と家族の絆を大切にしながら共に本人を支えていく関係を築ける様努めています。また、面会以外でもこまめにご家族様へ連絡し、利用者様が不安にならないよう家族様の思いを本人に伝えていきます。		
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の友人より連絡があった場合は手紙の受け渡しや電話の取次ぎを行う等、今まで大切にしていた関係性が途切れない様支援しています。	家族が面談に来られた際には居心地のいい環境を提供している。手紙や電話の際には、職員が支援を行い、利用者も安心して馴染みの人との連絡が取れている。近所の公園を散歩しながら、出会った知人との立ち話ができるよう支援したり、知人からの電話の取次ぎを行ったりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のレクリエーションの時間を職員も共有し、多くの関わりを持つようにしています。また、役割活動等を通して利用者様同士の関係が円滑になるよう、職員が注意深く見守っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになられた方の葬儀には参列し、ご家族様に故人との入所中の思い出をお話するなど、これまでの関係を継続できるように努めています。		

グループホームくすのき(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でできる限り利用者様と話す機会を持ち、ご利用者様が発する言葉や表情を把握し、入所生活についての不安、不満等を払拭できるような環境づくりを行っています。	普段のケアやイベントの中で知ったことや気づいたことをすぐに今後の支援に反映させ、職員間で共有し、利用者の想いに寄り添っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入所時の聞き取りの際、家族より暮らしぶり等を聞き、又本人との会話の中で今までの、生活状況を聞き把握に努めています。職員から積極的にお声がけし、利用者の思いを聞き出せるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の、心身の状態を把握し1人ひとりに合った過ごし方が、できるよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりが自分らしく暮らせるよう日頃からコミュニケーションをたくさんとることを心掛け、本人や家族との会話の中から趣味・嗜好を把握し、介護計画の作成に活かしています。本人のADLや職員からの聞き取りを基に必要であれば随時プランを見直しています。	ケアプランを見ると、誰のプランかわかるほど、アセスメントがしっかりできている。実際も、利用者1人1人の状態に寄り添った、プラン以上のケアができている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、排泄、バイタルチェック等、日々の様子変化について介護記録に記載し、その都度話し合い職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に合わせた柔軟な支援ができるよう職員間で話し合いその時々合った支援が行なえるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスが5類へ移行し、地域でのイベントが再開されるようになり、参加させて頂いています。民生委員や自治会長、その他地域の方々の協力を頂きながら楽しく、活力のある生活が送れるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に入所前のかかりつけ医の医療機関で受診して頂いております。本人及び家族様の意向により、協力医療機関へ受診されることもあります。	かかりつけ医による毎日の往診により、利用者は安心した日々が過ごせている。一方で、他科受診の希望等がある場合は、家族の協力を得ながらその意向を優先しており、情報連携もできている。	

グループホームくすのき(2階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関と24時間の連絡体制を敷いております。看護師にはいつでも相談できるような関係を築いております。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は入院機関へ必要な情報提供を行い、退院時には入院中の状態・留意事項等の確認を行い、退院後ホームでの生活がスムーズに送れるよう体制を整えています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族に本人の状態を報告し重度化した場合は家族と話し合い何処までできるか十分説明しながら方針を共有できるよう取り組んでいます。</p>	<p>重度化した場合の対応についてはかかりつけ医と連携し、本人や家族の希望に基づいたケアが実践できている。 かかりつけ医は24時間対応可能なため、利用者家族も安心して任せられる施設となっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の他事業所の研修に参加し、急変時及び事故発生時に対応できるよう心掛けております。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ご利用者様も参加して頂き、日中・夜間想定での訓練を行い、利用者のスムーズな避難方法の習得に努めております。コロナの影響で参加を見合わせていた地域の防災訓練が開催された際は参加し、地域の方との協力体制を今後も築いていきたいと思います。</p>	<p>年に2回、昼夜を想定した避難訓練や地震や水害を想定した訓練を利用者と一緒に行っており、運営推進会議でも参加の呼びかけや情報共有を行っている。 十分に備蓄もできている。</p>	

グループホームくすのき(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	話しかけや言葉遣い等、接遇研修を実施し、ご利用者様おひとりおひとりが尊厳をもって生活できるよう頃から言動に注意を怠らずケアにあたっています。	利用者との言葉遣いにおいて、親しみやすさと馴れ馴れしさとの違いを理解し、場面ごとの対応のメリハリをつけることを職員全員が常に意識するよう指導を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中で本人の希望や思いを汲み取り自分で決められるよう支援しています。意思表示が出来ない方でも表情や動作で分かることもあるため反応をみながら把握できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員がお手伝いしたくなるような時もありますが、本人のペースや希望に添えるよう時間に余裕を持つてのケアに努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の生活習慣に合わせて、本人のこだわっているスタイルを把握し、本人主体で身だしなみを整えられるよう配慮しています。自己決定がしにくい利用者様には職員と一緒に考え、本人の気持ちに沿った支援を心掛けています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様各々の食の好み、形態を全職員が把握し、その方に合った食事形態で提供しています。季節・行事に合わせた献立を立て、楽しめる食事を心掛けています。テーブル拭きや下膳等、ご本人のできる範囲で職員と共に行ってもらっています。	利用者と一緒に菜園で収穫した野菜を使い、専門スタッフによる手回りの食事を提供している。食事の配膳は利用者と一緒に楽しみながら行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	個々に記録を行い十分水分が取れているか、食事がとれているか確認しています。摂取量が下がっている場合は主治医に相談し、対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに合った口腔ケアを行い、汚れや臭いの無いように支援を行なっています。また口腔内清潔に努め誤嚥性肺炎の防止に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄状況が分かるチェック表を記録、参照し、本人の排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせたトイレ誘導を行い、なるべくトイレで排泄ができる様支援しています。	利用者それぞれが自分のできる能力を伸ばす細やかなケアを心がけている。かかりつけ医による体調の管理や、自転車こぎや歩行、階段昇降による下肢筋力向上の支援など、可能な限り自立を維持できるようケアに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬の処方だけに頼らず、食事や水分量などをこまめにチェックし対応しております。居室で過ごすだけでなく、散歩やレクリエーションで体を動かすよう声掛けています。		

グループホームくすのき(2階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴のお声がけの際、拒否がみられる方には時間差でお声がけしたり、日時を変更したりと、臨機応変に対応しています。また、状況によっては足浴や清拭等ご本人と相談し、清潔の保持に努めています。	本人の拒否があれば無理強いせず、翌日に振り替えるなどの対応を行っている。 週2回の入浴としているが、毎日入りたいなどの要望があれば、できる限り対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中役割活動や敷地内の庭を散歩するなど気分転換を図りゆっくり体を休めるよう支援し眠れない方についてはお茶を一緒に飲みながら話相手をし落着けるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容を理解し、その日の体調状態を把握するよう努め変化があれば主治医に相談するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	何が利用者様の楽しみや生きがいになるのかを把握し、ご自身の得意分野を発揮して頂けるような役割活動を提案し感謝の言葉を伝えていきます。利用者様の経験や知恵を生かし、レクリエーションや季節の行事等相談しながら行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	地域のイベントへ参加したり、敷地内の庭に出て歩いたり、少しでも外の気分を味わえるよう支援しています。近所に散歩に出かけた際は挨拶を交わしたり、ご本人の希望や必要時には通院等の外出支援を行っています。	気候を見ながら、密を避けて、近所を散歩する機会を大切に、利用者が外の刺激や季節を感じられる支援をしている。 散歩にいけない時には、施設内の畑で日光浴を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は基本的に禁止しております。どうしても所持したい場合は、トラブル防止のため家族様の許可の下施設で管理する体制を整えております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人、家族様の希望により電話を掛けたり、手紙を事業所宛てに送ってもらったり、職員が投函したり、自由にやり取りして頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には空気清浄機や加湿器を設置し、換気や温度調整を行い、常に快適に過ごせるよう配慮しています。壁には季節の作品や塗り絵を掲示し、季節感を味わっていただいています。テレビを見る方、制作活動をされる方、話をされたり、歌を聴く方等利用者様各々が思い思いに居心地よく生活できています。	リビングや廊下に外出やイベント時の写真や、利用者と職員が一緒に作った季節の貼り絵を飾り、季節を感じたり思い出を見れるようにしている。 明るく清潔な空間を維持できるよう細やかな清掃に努め、定期的に換気も行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室と共用スペースの移動はご本人の希望で自由にしております。居室でゆっくりくつろいだり、共用スペースでレクリエーションや体操、TVを見ていただいたり、一人ひとりが思い思いに過ごせるよう支援しています。		

グループホームくすのき(2階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様には馴染の深い家具や寝具を持ち込みいただき、使いやすい位置に配置し、自宅にいた時と同じような空間づくりを心掛けています。家族の写真やぬいぐるみ等を飾り、ご本人が居心地よく過ごせるようにしています。</p>	<p>利用者の居室は、希望があれば家具などの使い慣れたものの持ち込みを可能としており、その人らしい生活が送れるよう配慮されている。</p> <p>常に気持ちよく利用者が生活できるよう、換気や清掃にも気を配っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置や余裕のある空間など、利用者が安心・安全に過ごしていただけるような環境を整備しています。</p>	/	/

グループホームくすのき(2階)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
V アウトカム項目					
56		職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
62		利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない	
64		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目:9,10,19)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない	
65		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない	
66		職員は生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
67		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
68		職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない	